



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 オルバヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2689 URL <https://www.olba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	30,824	6.1	258	△7.3	255	△10.0	166	△0.8
2025年6月期第1四半期	29,044	5.6	279	11.3	284	13.8	168	△0.2

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 138百万円(△13.7%) 2025年6月期第1四半期 160百万円(11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	28.14	—
2025年6月期第1四半期	28.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	46,510	11,905	25.6
2025年6月期	45,871	12,255	26.7

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 11,905百万円 2025年6月期 12,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,302	4.4	793	△1.8	757	△8.1	475	△26.7	80.20
通期	127,978	4.3	2,000	1.0	1,928	△1.7	1,321	△7.6	223.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期1Q	6,250,000株	2025年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	321,972株	2025年6月期	325,372株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期1Q	5,926,578株	2025年6月期1Q	5,913,911株

当第1四半期末において、「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式251,700株を自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループでは新たに2028年6月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、「現業強化・効率化」、「ロジスティクス・イノベーション」、「サステナビリティ」、「新規事業育成・外部連携促進」、「OLB A-D X」を重点ポイントに定め、各種施策を推進しています。さらに、長期的な視点から経営を行うべく、2030年に向けて当社グループが目指す姿として、「国内最高の医療機器商社」、「営業利益の20%を海外から獲得」、「30以上の新製品・サービスを上市」という3本柱からなる「VISION2030」を制定し、その実現に向けた基盤づくりを進めています。

顧客である医療・介護施設は、人員不足や物価高騰に伴う人件費等の増加、補助金などの財政支援の減少により、設備投資に慎重な姿勢を示しつつあります。しかしながら、ロボット手術や不整脈治療など新しい技術領域では、引き続き積極的な設備投資が行われており、当社グループとしてもこうした市場の拡大に的確に対応できるよう取り組みを強化しています。また、物価高騰に伴う仕入れコストや在庫管理・配送コストの継続的な上昇に対しても、その影響を緩和すべく、生産性向上を図っています。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は308億24百万円（前年同期比 6.1%増）、連結営業利益は2億58百万円（前年同期比 7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億66百万円（前年同期比 0.8%減）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

〈医療器材事業〉

医療器材事業の商品分類別売上高は下記のとおりです。ただし、当該商品分類別売上高については、管理会計に基づく集計値を元に分析を行っています。そのため、商品分類別売上高の合計は医療器材事業の売上高と一致していませんが、これによる分析の正確性への影響は軽微であると判断しています。また、各商品分類における前年同期比の記載においては、今期から一部商品の集計区分を変更したため、前期実績も同じ区分で再集計して比較しています。

〈第1四半期 医療器材事業 商品分類別売上高〉

単位：百万円

	前期		当期		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
手術関連消耗品	12,444	44.3	12,721	42.6	276	2.2
整形外科消耗品	6,893	24.5	7,343	24.6	450	6.5
循環器消耗品	5,691	20.2	6,268	21.0	577	10.1
消耗品 小計	25,029	89.0	26,333	88.3	1,304	5.2
設備備品	3,088	11.0	3,501	11.7	413	13.4
商品分類別売上高 合計	28,117	100.0	29,835	100.0	1,717	6.1
調整額	△722	—	△742	—	△20	—
医療器材事業 合計	27,395	—	29,093	—	1,698	6.2

医療器材事業の成長の柱は消耗品の売上です。重点エリアである関西地方において、前期、連結子会社である株式会社カワニシの神戸営業所を関西支店に昇格させ、営業基盤の一層の強化を図りました。また、世界的な物価高騰による医療機器の仕入れ価格上昇は現在も続いているものの、我々は顧客ニーズに対応した安価な代替品提案を織り交ぜながら、可能な限り販売価格に転嫁する交渉を行っています。

これらの結果、医療器材事業の消耗品の売上高は前年同期比5.2%増となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品の売上高は、前年同期比2.2%増となりました。PPE（※1）を含む感染対策関連製品は、需要が一段落したことと同4.7%減となりましたが、主力の外科関連製品が同5.4%増と堅調に推移したことに加え、従来から重点的に営業活動を行っている糖尿病関連製品を含む内科関連製品が同10.7%増、消化器内視鏡関連製品

も同6.6%増となりました。

(※1) Personal Protective Equipment : 個人防護具

整形外科消耗品の売上高は、前年同期比6.5%増となりました。2024年6月の償還価格改定の影響などにより減少傾向にあった脊椎関連製品は、症例増加などにより同14.3%増、前期に獲得した施設の影響やロボット手術の導入効果などにより、人工関節関連製品が同5.4%増となりました。人工関節分野で普及しているロボット手術については、前期に引き続き導入支援を積極的に行っています。

循環器消耗品の売上高は、前年同期比10.1%増となりました。従来から重点的に取り組んできたカテーテルアブレーション(※2)関連製品が同13.8%増となり業績を牽引したほか、心臓虚血治療関連製品が同8.5%増、ペースメーカーなどの不整脈に対する埋込インプラントも同8.4%増となりました。また、症例が一時落ち着いていたTAVI(※3)を含む心臓血管外科関連商品も同5.6%増となりました。

(※2) 頻脈の原因となる心筋組織を焼灼もしくは凝固する治療

(※3) 心臓の大動脈弁を低侵襲に人工弁へ置換する治療

設備備品の売上高は、前年同期比13.4%増となりました。これは、前期第1四半期の設備備品が例年より下振れたこと、および今期に特需備品の売上があったことによるものです。新規事業として進めているクリニック向け自動精算機『テマサック®』や、2025年1月6日に設立した株式会社オルシードによる次世代型ごみ処理機『低熱分解型アップサイクルユニット O L S T E C H® (オルステック)』の事業も順調に展開しています。

これらの結果、医療器材事業は、売上高290億93百万円(前年同期比6.2%増)となりました。しかしながら、特需備品の利益率が低かったことや、消耗品の仕入価格の上昇を販売価格に十分に転嫁できなかったことなどにより、売上総利益は伸び悩みました。また、給与ベースアップ、組織体制の強化に向けた人員補強などの人的資本への投資、O L B A - D X 推進のためのシステム投資などにより販売管理費は前年を上回りました。その結果、営業利益は2億21百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、仕入価格上昇分を販売価格へ転嫁する活動と、物価上昇に伴う管理料の値上げ交渉を継続した結果、売上高は14億84百万円(前年同期比6.3%増)となりました。一方、販売管理費は給与ベースアップなどの影響で増加したことにより、営業利益は20百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

〈介護用品事業〉

介護用品事業は、在宅医療・居宅介護の需要が引き続き高いため、主力のレンタル事業が前年同期比6.7%増と順調に推移しました。レンタルに付随する物品販売、住宅改修も提案営業の強化により、それぞれ同20.3%増、同4.2%増となりました。その結果、売上高は7億21百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は52百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の総資産は465億10百万円となり、前連結会計年度と比べ6億38百万円増加しました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1億58百万円、商品が5億83百万円、有形固定資産が9億25百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が9億5百万円、電子記録債権が5百万円、その他の流動資産が1億31百万円それぞれ減少したことによるものです。

また、負債は346億4百万円となり、前連結会計年度と比べ9億89百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7億98百万円、短期借入金が16億50百万円それぞれ増加した一方で、電子記録債務が10億60百万円、未払法人税等が4億21百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は119億5百万円となり、前連結会計年度と比べ3億50百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億66百万円増加した一方で、配当金により4億94百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.1ポイント減少し、25.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、2025年8月12日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,470,220	2,564,304
受取手形、売掛金及び契約資産	23,146,435	23,304,760
電子記録債権	3,208,986	3,203,134
商品	6,417,099	7,000,557
その他	680,891	549,647
流動資産合計	36,923,634	36,622,404
固定資産		
有形固定資産	5,504,334	6,430,037
無形固定資産		
その他	625,506	658,870
無形固定資産合計	625,506	658,870
投資その他の資産	2,817,736	2,798,855
固定資産合計	8,947,578	9,887,763
資産合計	45,871,212	46,510,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,412,143	19,210,536
電子記録債務	8,630,861	7,569,974
短期借入金	400,080	2,050,080
未払法人税等	491,090	69,941
役員賞与引当金	-	5,532
賞与引当金	43,189	86,457
その他	1,844,381	1,922,860
流動負債合計	29,821,745	30,915,383
固定負債		
長期借入金	1,516,580	1,416,560
役員株式給付引当金	307,323	318,405
役員退職慰労引当金	2,450	-
退職給付に係る負債	523,070	531,954
長期未払金	121,600	122,787
その他	1,322,806	1,299,676
固定負債合計	3,793,829	3,689,384
負債合計	33,615,575	34,604,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	329,415	329,415
利益剰余金	11,382,644	11,055,020
自己株式	△551,294	△545,632
株主資本合計	11,768,515	11,446,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,505	147,737
為替換算調整勘定	△4,181	△9,006
退職給付に係る調整累計額	330,797	320,115
その他の包括利益累計額合計	487,121	458,846
非支配株主持分	-	-
純資産合計	12,255,637	11,905,399
負債純資産合計	45,871,212	46,510,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29,044,306	30,824,228
売上原価	25,780,074	27,448,699
売上総利益	3,264,232	3,375,529
販売費及び一般管理費	2,985,202	3,116,738
営業利益	279,030	258,791
営業外収益		
受取利息	335	1,073
受取保険金	435	365
為替差益	-	7,280
投資事業組合運用益	6,394	-
受取手数料	206	371
売電収入	2,434	2,826
助成金収入	880	750
その他	3,619	1,604
営業外収益合計	14,306	14,272
営業外費用		
支払利息	7,133	11,512
売電費用	1,158	1,122
その他	630	4,446
営業外費用合計	8,922	17,081
経常利益	284,413	255,982
特別損失		
有形固定資産除却損	22	1,301
特別損失合計	22	1,301
税金等調整前四半期純利益	284,391	254,680
法人税、住民税及び事業税	60,988	58,349
法人税等調整額	55,334	29,576
法人税等合計	116,323	87,926
四半期純利益	168,068	166,754
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,068	166,754

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	168,068	166,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,695	△12,767
為替換算調整勘定	△1,984	△4,825
退職給付に係る調整額	△9,273	△10,682
その他の包括利益合計	△7,562	△28,275
四半期包括利益	160,506	138,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,506	138,478
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	27,010,136	1,364,833	669,336	29,044,306	—	29,044,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	385,331	31,893	6	417,231	△417,231	—
計	27,395,468	1,396,727	669,343	29,461,538	△417,231	29,044,306
セグメント利益	236,230	30,135	52,577	318,943	△39,913	279,030

(注)1 セグメント利益の調整額△39,913千円には、セグメント間取引消去2,763千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△42,676千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	28,650,043	1,452,394	721,790	30,824,228	—	30,824,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443,104	32,247	56	475,408	△475,408	—
計	29,093,148	1,484,642	721,847	31,299,637	△475,408	30,824,228
セグメント利益	221,705	20,686	52,964	295,357	△36,565	258,791

(注)1 セグメント利益の調整額△36,565千円には、セグメント間取引消去116千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△36,682千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	137,919千円	163,828千円
のれんの償却費	1,916千円	—千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	医療器材	S P D 事業	介護用品事業	合計
消耗品	24,527,465	—	—	24,527,465
設備備品	2,482,671	—	—	2,482,671
S P D サービス	—	1,364,833	—	1,364,833
介護用品サービス	—	—	142,273	142,273
顧客との契約から生じる収益	27,010,136	1,364,833	142,273	28,517,243
レンタル取引等に係る収益 (注)	—	—	527,062	527,062
外部顧客への売上高	27,010,136	1,364,833	669,336	29,044,306

(注) 「介護用品サービス」のレンタル取引に係る収益については、収益認識会計基準の適用除外項目である「リース取引」に該当することから、顧客との契約から生じる収益には含めていません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	医療器材	S P D 事業	介護用品事業	合計
消耗品	25,753,913	—	—	25,753,913
設備備品	2,896,129	—	—	2,896,129
S P D サービス	—	1,452,394	—	1,452,394
介護用品サービス	—	—	159,505	159,505
顧客との契約から生じる収益	28,650,043	1,452,394	159,505	30,261,943
レンタル取引等に係る収益 (注)	—	—	562,285	562,285
外部顧客への売上高	28,650,043	1,452,394	721,790	30,824,228

(注) 「介護用品サービス」のレンタル取引に係る収益については、収益認識会計基準の適用除外項目である「リース取引」に該当することから、顧客との契約から生じる収益には含めていません。